

表 77 八戸地区の観測井測定結果（水位・沈下量の年度別累積変動）

井戸 No.	観測井 設置場所	26年度		27年度		28年度		29年度		30年度	
		水位 (m)	沈下 (mm)	水位 (m)	沈下 (mm)	水位 (m)	沈下 (mm)	水位 (m)	沈下 (mm)	水位 (m)	沈下 (mm)
1	青葉三丁目 (第三中学校)	-2.09	-	+2.10	-	+1.98	-	-2.04	-	-2.03	-
2	尻内町字中根市 (三条中学校)	-0.48	-	+0.44	-	+0.40	-	-0.41	-	-0.36	-
3	市川町字赤畑 (市川中学校)	-8.52	-	+8.34	-	+8.74	-	-9.31	-	-9.11	-
4-A	旧柏崎二丁目 (柏崎小学校)	-0.90	-1.50	+1.09	-0.06	+6.12	-0.20	-2.19	1.85	-2.14	-1.41
5	江陽二丁目 (江陽公園)	-2.15	-1.28	+0.72	-0.01	+0.08	+0.01	-2.07	0.12	-2.00	-0.21
6	河原木字角地田 (市宮河原木団地)	-1.08	-0.01	+1.48	-0.14	+1.52	-0.05	-1.10	-0.5	-0.99	-0.08
7	市川町字古館 (多賀小学校)	-9.82	-1.80	-4.46	0	-5.03	-0.04	-10.90	-1.08	-10.99	-0.8

資料：八戸市

10 化学物質

表 78 ダイオキシン類環境基準

媒 体	環 境 基 準	備 考
大 気	年間平均値が 0.6pg-TEQ/m ³ 以下であること。	1 基準値は2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した値とする。 2 大気の汚染に係る環境基準は、工業専用地域、車道その他一般公衆が通常生活していない地域又は場所については適用しない。 3 水質の汚濁(水底の底質の汚染を除く。)に係る環境基準は、公共用水域及び地下水について適用する。 4 水底の底質の汚染に係る環境基準は、公共用水域の水底の底質について適用する。 5 土壌の汚染に係る環境基準は、廃棄物の埋立地その他の場所であって、外部から適切に区別されている施設に係る土壌については適用しない。 6 土壌にあっては、環境基準が達成されている場合であって、土壌中のダイオキシン類の量が 250pg-TEQ/g 以上の場合には、必要な調査を実施することとする。
水 質 (水底の底質を除く。)	年間平均値が 1.0pg-TEQ/L 以下であること。	
水底の底質	150pg-TEQ/g 以下であること。	
土 壌	1,000pg-TEQ/g 以下であること。	

平成 11 年 12 月 27 日環境庁告示第 68 号、改正：平成 14 年 7 月 22 日環境省告示第 46 号

表 79 ダイオキシン類モニタリング調査結果（環境大気）

(令和元年度)

No.	目的	市町村	測定地点	ダイオキシン類(pg-TEQ/m ³)					実施機関	
				調査時期				年平均値		
				春期	夏期	秋期	冬期			
1	一般環境	青森市	青森市立堤小学校	0.013	0.0042	0.011	0.010	0.0096	青森市	
2		弘前市	弘前市立第一中学校	0.0049	0.0063	0.0039	0.005	0.0051		
3		八戸市	八戸市立八戸小学校	0.0096	0.0061	0.015	0.012	0.011		
4		五所川原市	五所川原市立五所川原第三中学校	0.016	0.019	0.0090	0.0077	0.013	八戸市	
5		十和田市	十和田市立三本木中学校	0.0074	0.015	0.0065	0.0079	0.0092		
6		むつ市	むつ合同庁舎	0.0035	0.0026	0.0034	0.0044	0.0035		
7		青森市	青森市文化財資料等収蔵庫	0.0085	0.012	0.032	0.013	0.016	青森市	
8		八戸市	八戸市立根岸小学校	0.0099	0.010	0.012	0.0068	0.010		
9		源平	内町	薬師野地区農業集落排水処理施設	0.0032	0.0025	0.0032	0.0055	0.0036	八戸市
10		大鱈	町	大鱈町役場	0.0043	0.0075	0.0033	0.0043	0.0049	
11		東北	町	東北町保健福祉センター	0.0048	0.0068	0.0042	0.0079	0.0059	
環境基準（年平均値）								0.6		

(注) 1 ダイオキシン類はPCDD、PCDF及びコプラナーPCBの総和を示す。

2 毒性等量(TEQ)はWHO-IPCS(2006)毒性等価係数(TEF)として用いて、毒性の強さに換算した数値である。

3 (注)1及び(注)2については、水質、底質、及び土壌に係る表についても同様である。

資料：県環境保全課

表 80 ダイオキシン類モニタリング調査結果（公共用水域）

（令和元年度）

No.	水 域 名	調査地点名	ダイオキシン類		実施機関
			公共用水域水質 (pg-TEQ/L)	公共用水域底質 (pg-TEQ/g)	
1	笹内川	笹内橋	0.015	—	県
2	中村川	中村橋	0.038	—	
3	平川	板沢橋	0.025	—	
4	虹貝川	第二清川橋	0.015	—	
5	岩木川	乾橋	0.083	0.25	国土交通省
6	新十川	湊橋	0.21	1.2	県
7	旧十川	鳴戸橋	0.32	4.5	
8	山田川	車力橋	0.31	0.52	
9	新城川	戸建沢橋	0.084	0.097	
10	大袋川	新井田橋	0.28	0.89	青森市
11	沖館川	大袋川	0.29	0.67	
12	横内川	沖館橋	0.052	9.0	
13	横内川	ねぶたの里入口	0.048	0.079	
14	小湊川	雷電橋	0.034	—	県
15	永下川	永下橋	0.016	—	
16	奥戸川	奥戸橋	0.028	—	
17	土場川	鳥口橋	0.071	0.61	
18	姉沼川	姉沼橋	0.081	—	八戸市
19	奥入瀬川	開運橋	0.084	—	
20	熊原川	留ヶ崎橋	0.051	0.27	
21	五戸川	尻引橋	0.33	—	
22	新井田川	長館橋	0.10	—	国土交通省
23	馬淵川	尻内橋	0.069	0.22	
24	浅水川	なかの橋	0.16	—	
25	小川原湖	H(小川原湖総合観測所)	0.072	12	
26	小川原湖	内沼 中央	0.020	—	県
27	十和田湖	姉沼 中央	0.026	14	
28	十和田湖	5中 央	0.014	4.6	
29	陸奥湾	青森港東(本港)	0.047	6.6	
30	陸奥湾	青森湾中央	0.014	1.6	県
31	陸奥湾	陸奥湾中央	0.014	—	
32	陸奥湾	大湊湾中央	0.014	—	
33	八戸前面海域	4 鮫・白銀前面	0.070	2.5	
34	八戸前面海域	9 北沼前面	0.078	—	八戸市
35	高瀬川	高瀬川河口	0.13	0.21	
環境基準値			1	150	国土交通省

資料：県環境保全課

表81 ダイオキシン類モニタリング調査結果（地下水）

（令和元年度）

No.	調査地点	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)	実施機関	
1	青森市 新町	0.048	青森市	
2	青森市 金沢	0.048		
3	八戸市 市川町	0.070	八戸市	
4	十和田市 三本木	0.048		
5	むつ市 奥内	0.048	県	
6	平内町 清水川	0.048		
7	鯨ヶ沢町 南浮田町	0.048		
8	藤崎町 水木	0.048		
9	大鰐町 鱒石	0.048		
10	東北町 田ノ沢	0.048		
11	風間浦村 易国間	0.048		
12	階上町 金山沢	0.048		
13	新郷村 戸来	0.048		
環境基準値		1		

資料：県環境保全課

表 82 ダイオキシン類モニタリング調査結果（土壌）

（令和元年度）

No.	目的	調査地点	ダイオキシン類 (pg-TEQ/g)	実施機関
1	一般環境	青森市 浪館	0.54	青森市
2		八戸市 新井田	0.87	八戸市
3		十和田市 三本木	0.014	県
4		つがる市 木造大畑	1.2	
5		鶴田町 鶴田	77	
6		六ヶ所村 倉内	0.092	
7		南部町 福田	0.14	青森市
8	青森市 田茂木野	2.5		
9	発生源周辺	青森市 羽白	7.4	八戸市
10		八戸市 八太郎	3.3	
11		むつ市 奥内	0.99	県
12		深浦町 風合瀬	0.024	
環境基準値			1,000	

資料：県環境保全課

表83 令和元年度P R T R届出排出量・移動量（把握年度：平成30年度分）

（単位：kg/年、ダイオキシン類はmg-TEQ/年）

物質番号	対象物質 物質名称	排出量					移動量		排出・移動量合計	
		大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物移動	下水道への移動		
1	亜鉛の水溶性化合物	327	4,158	0	0	4,485	3,180	0	3,180	7,665
2	アクリルアミド	0	0	0	0	0	10	0	10	10
3	アクリル酸エチル	0	0	0	0	0	240	0	240	240
4	アクリル酸及びその水溶性塩	0	0	0	0	0	2,300	0	2,300	2,300
5	アクリル酸2-（ジメチルアミノ）エチル	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	アクリル酸メチル	0	0	0	0	0	93	0	93	93
9	アクリロニトリル	1,100	0	0	0	1,100	190	0	190	1,290
13	アセトニトリル	41	0	0	0	41	41,000	0	41,000	41,041
20	2-アミノエタノール	0	0	0	0	0	11,000	0	11,000	11,000
30	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。）	0	1,800	0	0	1,800	0	0	0	1,800
31	アンチモン及びその化合物	0	0	0	0	0	297	0	297	297
33	石綿	0	0	0	0	0	9,280	0	9,280	9,280
48	O-エチル=O-4-ニトロフェニル=フェニルホスホノチオアートの（別名E P N）	0	153	0	0	153	0	0	0	153
53	エチルベンゼン	44,649	0	0	0	44,649	81,653	0	81,653	126,302
56	エチレンオキシド	4	0	0	0	4	0	0	0	4
58	エチレンジクロールモノメチルエーテル	7	0	0	0	7	0	0	0	7
60	エチレンジアミン四酢酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0
71	塩化第二鉄	0	0	0	0	0	3,900	0	3,900	3,900
75	ガドミウム及びその化合物	9	5	0	0	13	580	0	580	593
77	カルシウムシアナミド	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80	キシレン	79,501	0	0	0	79,501	100,549	0	100,549	180,050
81	キノリン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
87	クロム及び三価クロム化合物	197	139	0	0	336	63,570	0	63,570	63,906
88	六価クロム化合物	0	70	0	0	70	0	0	0	70
104	クロロジフルオロメタン（別名HCFC-22）	93	0	0	0	93	0	0	0	93
113	2-クロロ-4,6-ビス（エチルアミノ）-1,3,5-トリアジン（別名シマジンはCAT）	0	1	0	0	1	0	0	0	1
125	クロロベンゼン	620	0	0	0	620	20,000	0	20,000	20,620
127	クロロホルム	12,000	3,200	0	0	15,200	1,800	0	1,800	17,000
128	クロロメタン（別名塩化メチル）	72	0	0	0	72	650	0	650	722
132	コバルト及びその化合物	0	0	0	0	0	510	0	510	510
144	無機シアン化合物（錯塩及びシアン酸塩を除く。）	0	172	0	0	172	1	1	2	174
147	N,N-ジエチルチオカルバミン酸S-4-クロロベンジル（別名チオベンカルブ又はベンチオカブ）	0	10	0	0	10	0	0	0	10
149	四塩化炭素	0	1	0	0	1	0	0	0	1
150	1,4-ジオキサソラン	0	54	0	0	54	0	0	0	54
154	シクロヘキシルアミン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
157	1,2-ジクロロエタン	0	2	0	0	2	0	0	0	2
158	1,1-ジクロロエチレン（別名塩化ビニリデン）	0	14	0	0	14	0	0	0	14
159	シス-1,2-ジクロロエチレン	0	22	0	0	22	0	0	0	22
164	2,2-ジクロロ-1,1,1-トリフルオロエタン（別名HCFC-123）	360	0	0	0	360	0	0	0	360
179	1,3-ジクロロプロパン（別名D-D）	0	1	0	0	1	0	0	0	1
186	ジクロロメタン（別名塩化メチレン）	0	15	0	0	15	0	0	0	15
207	2,6-ジニターシャリブチル-4-クレゾール	0	9	0	0	9	0	0	0	9
210	2,2-ジブromo-2-シアノアセトアミド	0	9	0	0	9	0	0	0	9
230	N-(1,3-ジメチルブチル)-N'-フェニル-パラフェニレンジアミン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
237	水銀及びその化合物	10	2	0	0	12	600	0	600	612
239	有機スズ化合物	0	0	0	0	0	270	0	270	270
240	スチレン	5,694	0	0	0	5,694	54	0	54	5,748
242	セレン及びその化合物	0	107	0	0	107	0	0	0	107
243	ダイオキシン類	1,011	11	0	1	1,023	30,058	0	30,058	31,081
262	テトラクロロエチレン	0	5	0	0	5	0	0	0	5
265	テトラヒドロメチル無水フタル酸	0	0	0	0	0	400	0	400	400
268	テトラメチルチウラムジスルフィド（別名チウラム又はチラム）	0	3	0	0	3	0	0	0	3
272	銅水溶性塩（錯塩を除く。）	4	398	0	0	402	0	0	0	402
277	トリエチルアミン	3,640	87	0	0	3,727	0	0	0	3,727
279	1,1,1-トリクロロエタン	0	173	0	0	173	0	0	0	173
280	1,1,2-トリクロロエタン	0	3	0	0	3	0	0	0	3
281	トリクロロエチレン	0	7	0	0	7	0	0	0	7
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	1,309	0	0	0	1,309	30	0	30	1,339
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	2,026	0	0	0	2,026	0	0	0	2,026
300	トルエン	102,412	0	0	0	102,412	203,835	0	203,835	306,248
302	ナフタレン	150	0	0	0	150	0	0	0	150
304	鉛	40	0	0	0	40	0	0	0	40
305	鉛化合物	473	218	0	0	692	28,085	0	28,085	28,777
308	ニッケル	51	4	0	0	55	8,571	2	8,573	8,627
309	ニッケル化合物	210	49	0	0	259	1,548	21	1,569	1,828
332	砒素及びその無機化合物	24	86	0	0	110	2,500	0	2,500	2,610
333	ヒドラジン	0	0	0	0	0	1,200	0	1,200	1,200
342	ビリジン	0	0	0	0	0	890	0	890	890
349	フェノール	0	0	0	0	0	240	0	240	240
354	フタル酸ジ-ノルマル-ブチル	0	0	0	0	0	3	0	3	3
374	ふっ化水素及びその水溶性塩	90	9,151	0	0	9,241	4,580	200	4,780	14,021
384	1-ブプロモプロパン	11,700	0	0	0	11,700	0	0	0	11,700
392	ノルマル-ヘキサソラン	59,113	200	0	0	59,313	13,340	0	13,340	72,653
398	ベンジル=クロロド（別名塩化ベンジル）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
400	ベンゼン	5,667	5	0	0	5,672	0	0	0	5,672
405	ほう素化合物	18	68,990	0	0	69,008	4,820	13	4,833	73,841
406	ポリ塩化ビフェニル（別名PCB）	0	1	0	0	1	7,100	0	7,100	7,101
410	ポリ（オキシエチレン）=ノニルフェニルエーテル	5	0	0	0	5	0	0	0	5
411	ホルムアルデヒド	140	6	0	0	146	8,700	0	8,700	8,846
412	マンガン及びその化合物	1,557	6,755	0	0	8,312	277,386	0	277,386	285,698
415	メタクリル酸	0	0	0	0	0	550	0	550	550
420	メタクリル酸メチル	0	0	0	0	0	1,400	0	1,400	1,400
438	メチルナフタレン	1,325	0	0	0	1,325	0	0	0	1,325
448	メチレンビス（4,1-フェニレン）=ジイソシアネート	0	0	0	0	0	0	0	0	0
453	モリブデン及びその化合物	113	0	0	0	113	2,359	0	2,359	2,472
455	モルホリン	0	35	0	0	35	0	0	0	35
461	りん酸トリフェニル	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全対象物質の合計		334,752	96,120	0	0	430,872	909,264	237	909,501	1,340,373

*排出量・移動量の合計は、各事業所から届け出られた当該データ（ダイオキシン類を除き小数点第1位まで）の合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもの。本集計表の排出量等の各欄を縦・横方向に合計した数値とは異なる場合がある。

資料：県環境保全課

表 84 食品中の残留農薬等検査結果

1 農産物の残留農薬に係る検査結果

(1) 検査品目及び検体数

平成 31 年度の残留農薬検査結果（青森県）

14品目の野菜・果実等71検体を検査したところ、7品目から21種類の農薬を検出しましたが、法違反（食品衛生法に基づく残留農薬基準値を超えるもの）となった検体はありませんでした。

なお、有機塩素系、有機リン系、カーバメイト系、ピレスロイド系等114-188種類の農薬について検査を実施しています。（※品目により検査する農薬の種類が異なります。）

食品名	検体数	違反件数	備考
輸入パプリカ	4		韓国・オランダ産
トマト（ミニトマト含む）	7		国産
大根	5		国産
にんにく	4		国産
かぼちゃ	1		国産
メロン	3		国産
にんじん	7		国産
とうもろこし	5		国産
玄米	6		国産
りんご	8		国産
長いも	6		国産
ごぼう	5		国産
輸入バナナ	5		フィリピン・エクアドル産
輸入かんきつ類	5		アメリカ産
合計	71		

資料：表84 県保健衛生課

(2) 検出した農薬

食品名	農薬名	検出検体数	検出濃度	食品衛生法に基づく残留基準値（ppm以下）
輸入パプリカ	-	-	-	-
トマト （ミニトマト含む）	フルジオキサニル	1	0.01	5
	ジエトフェンカルブ	1	0.01	5
	イミダクロプリド	1	0.02	2
	ベルメトリン	1	0.01	1.0
大根	-	-	-	-
メロン	クロチアニジン	2	0.01、0.01	0.3
にんじん	-	-	-	-
とうもろこし	-	-	-	-
玄米	プロモブチド	1	0.02	0.7
	フェリムゾン	3	0.01、0.02、0.04	2
	フサライド	1	0.01	1
	トリシクラゾール	1	0.04	3
りんご	アセタミプリド	2	0.06、0.06	2
	キャプタン	6	0.02、0.06、0.01、0.05、0.01、0.01	15
	シベルメトリン	6	0.05、0.03、0.01、0.05、0.03、0.02	2.0
長いも	チアクロプリド	1	0.01	2
	アセフェート	1	0.19	0.5
ごぼう	メタミドホス	1	0.02	0.1
	-	-	-	-
輸入バナナ	クロルピリホス	3	0.02、0.01、0.04	3
輸入かんきつ類	イマザリル	5	0.53、0.71、0.63、0.47、0.75	5.0
	チアベンダゾール	5	0.59、0.19、0.26、0.25、0.44	10
	アゾキシストロビン	1	0.02	10
	フェンプロパトリン	1	0.02	5
	イミダクロプリド	1	0.02	0.7

2 食品中の有害物質等に係る検査結果

(1) ホタテガイの有機スズ化合物に係る検査結果

検体名	検体数	検査項目		
		ジブチルスズ化合物	トリブチルスズ化合物	トリフェニルスズ化合物
ホタテガイ	5	全てND	全てND	全てND
定量下限		0.04 (塩化物として)	0.02 (塩化物として)	0.02 (塩化物として)

※単位：μg/g

※ND：定量下限未満

(2) 魚介類のPCB、水銀及びクロルデン類に係る検査結果

検体名	検体数	検査項目		
		総水銀	PCB	クロルデン類
メバ	1	0.048	ND	ND
ホツ	1	0.044	ND	ND
アジ	1	0.045	ND	ND
イシガレイ	1	0.043	ND	ND
ニジマス	1	0.176	ND	ND
定量下限		0.005	0.01	0.01

※単位：ppm

※ND：定量下限未満

※水銀の暫定的規制値：総水銀0.4ppm及びメチル水銀0.3ppm(ただし、マグロ類(マグロ、カジキ及びカツオ)及び内水面水域の河川産の魚介類(湖沼産を除く。)及び深海性魚介類については適用しない。)

※PCBの暫定的規制値：遠洋沖合魚介類(可食部)0.5ppm、内海内湾(内水面を含む。)魚介類(可食部)3ppm

※クロルデン類の基準値：クロルデン：畜水産物においてはcis-クロルデン、trans-クロルデン及び代謝物のオキシクロルデンの和(基準値0.05ppm)。ヘプタクロル：ヘプタクロル及びヘプタクロルエポキシドが含まれる(0.05ppm)。トランスノナクロル：0.01ppm(一律基準)

11 酸性雨

表 85 酸性雨調査結果(年平均値)

(令和元年度)

項目	調査地点	青森市	鱈ヶ沢町
		県環境保健センター	鱈ヶ沢道路河川事業所
年間降水量	(mm)	970	1,174
pH		4.8	4.9
電気伝導度	(μS/cm)	41.5	49.8
SO ₄ ²⁻	(μg/mL)	2.27	2.51
NO ₃ ⁻	(μg/mL)	1.18	1.18
Cl ⁻	(μg/mL)	8.10	10.30
NH ₄ ⁺	(μg/mL)	0.38	0.33
Ca ²⁺	(μg/mL)	0.35	0.41
Mg ²⁺	(μg/mL)	0.53	0.69
K ⁺	(μg/mL)	0.19	0.24
Na ⁺	(μg/mL)	4.38	5.64
nss-SO ₄ ²⁻	(μg/mL)	1.17	1.09
nss-Ca ²⁺	(μg/mL)	0.19	0.19

資料：県環境保全課

12 環境放射線等

表 86 原子力施設環境放射線等調査結果(令和元年度)

1 原子燃料サイクル施設

(1) 空間放射線

調査対象	調査地点		単位	測定値
空間放射線量率	モニタリングステーション	測定地点 尾駸局他計5局	nGy/h	16~81
		比較対照地点 青森局		22~65
	モニタリングポスト	測定地点 横浜町役場局他計6局		16~76
	モニタリングカー定点測定	測定地点 尾駸他計23地点		12~23
	比較対照地点 青森市1地点		19~21	
	モニタリングカー走行測定	測定地点 原子燃料サイクル施設周辺計9ルート		11~28
積算線量	測定地点	尾駸他計23地点	$\mu\text{Gy}/91\text{日}$	82~112
	比較対照地点	青森市1地点		103~106

資料：表 86～表 88 県原子力安全対策課

(2) 環境試料中の放射能

ア 大気浮遊じん中の全アルファ及び全ベータ放射能

調査地点	単位	測定値	
		全アルファ	全ベータ
モニタリングステーション尾駸局他計5局	mBq/m ³	*~0.25	*~1.3
比較対照地点 モニタリングステーション青森局		*~0.15	0.15~1.4

(注) *：検出限界以下

イ 大気中の気体状ベータ放射能 (クリプトン-85換算)

調査地点	単位	測定値
モニタリングステーション尾駸局他計5局	kBq/m ³	ND
比較対照地点 モニタリングステーション青森局		ND

(注) ND：定量下限値未満

ウ 大気中のヨウ素-131

調査地点	単位	測定値
モニタリングステーション尾駸局他計5局	mBq/m ³	ND
比較対照地点 モニタリングステーション青森局		ND

(注) ND：定量下限値未満

エ 核種分析

調査対象	単位	セシウム-137		トリチウム		炭素-14		ストロンチウム-90		プルトニウム			ウラン		ヨウ素-129		アメリカシウム-241		キュリウム-244		
		検体数	測定値	検体数	測定値	検体数	測定値	検体数	測定値	検体数	測定値	Pu-238	Pu-239+240	検体数	測定値	検体数	測定値	検体数	測定値	検体数	測定値
陸上	大気浮遊じん	20	ND	—	—	—	—	20	ND	20	ND	ND	4	ND	—	—	—	—	—	—	
	大気(水蒸気状)	mBq/m ³	—	—	24	ND	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	雨水	Bq/ℓ	—	—	12	ND	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	降下物	Bq/m ²	12	ND	—	—	—	1	0.09	1	ND	ND	1	1.4	—	—	—	—	—	—	
	河川水		2	ND	2	ND	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	湖沼水	mBq/ℓ	8	ND	8	ND	—	—	4	ND	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	水道水	はBq/ℓ	4	ND	4	ND	—	—	4	ND	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	井戸水		4	ND	4	ND	—	—	4	ND	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	河底土		2	ND,4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	湖底土	Bq/kg乾	3	ND~8	—	—	—	—	3	ND	3	ND	0.23~0.57	2	95,130	—	—	3	0.12~0.26	3	ND
表土		3	ND~12	—	—	—	—	3	ND~0.7	3	ND	ND~0.48	3	6.8~83	3	ND	3	ND~0.20	3	ND	
試料	牛乳(原乳)	Bq/ℓ(炭素はBq/kg生)	14	ND	—	—	6	14~15	14	ND	—	—	—	6	ND	—	—	—	—	—	
	精米		3	ND	—	—	3	84~85	3	ND	3	ND	ND	2	ND	—	—	—	—	—	
	キャベツ、ハクサイ		2	ND	—	—	2	2,6	2	ND	2	ND	ND	1	ND	—	—	—	—	—	
	ダイコン		1	ND	—	—	1	4	1	0.13	1	ND	ND	1	ND	—	—	—	—	—	
	ナガイモ		1	ND	—	—	1	16	1	ND	1	ND	ND	—	—	—	—	—	—	—	
	牧草	Bq/kg生	4	ND~0.6	—	—	—	—	4	0.09~0.26	4	ND	ND	4	ND	—	—	—	—	—	
	ワカサギ		1	ND	—	—	—	—	1	ND	1	ND	ND	—	—	—	—	—	—	—	
	シジミ		1	ND	—	—	—	—	1	ND	1	ND	ND	—	—	—	—	—	—	—	
指標生物	松葉	2	ND	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	0.04, 0.07	—	—	—	—	—		
海洋試料	海水	mBq/ℓ(トリチウムはBq/ℓ)	6	ND	6	ND	—	—	6	ND	6	ND	ND	—	—	—	—	—	—		
	海底土	Bq/kg乾	3	ND	—	—	—	—	3	ND	3	ND	0.33~0.48	—	—	—	—	3	0.13~0.24	3	ND
	ヒラメ		1	ND	2	ND	—	—	1	ND	1	ND	ND	—	—	—	—	—	—		
	コンブ		1	ND	—	—	—	—	1	ND	1	ND	0.003	—	—	—	—	—	—		
	ホタテ	Bq/kg生	1	ND	—	—	—	—	1	ND	1	ND	ND	—	—	—	—	—	—		
指標生物	チガイソ	2	ND	—	—	—	—	2	ND	2	ND	0.002, 0.004	—	—	—	—	—	—			
比較対照(青森市)	大気浮遊じん	mBq/m ³	4	ND	—	—	—	—	4	ND	4	ND	ND	4	ND	—	—	—	—		
	大気(水蒸気状)		—	—	12	ND	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	表土	Bq/kg乾	1	4	—	—	—	—	1	0.8	1	ND	0.14	1	40	1	ND	1	0.04	1	ND
	精米	Bq/kg生	—	—	—	—	1	84	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	指標生物	松葉	2	ND	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	0.03, 0.06	—	—	—	—		
計	—	108	—	74	—	14	—	85	—	59	—	—	33	—	4	—	10	—	10	—	

(注) ND: 定量下限値未満

(3) 環境試料中のフッ素

	調査対象	単位	検体数	測定値
陸上試料	大気 (気体状フッ素)	ppb	連続	ND
	大気※	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	4	ND
	河川水	mg/ℓ	2	ND
	湖沼水		6	0.2~0.6
	河底土	mg/kg 乾	2	60,67
	湖底土		2	110,170
	牛乳 (原乳)	mg/ℓ	6	ND
	精米	mg/kg 生	1	ND
	牧草		2	ND, 0.1
比較対照 (青森市)	大気 (気体状フッ素)	ppb	連続	ND
	大気※	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	4	ND
	計	—	29	—

(注) ND : 定量下限値未満

・「大気※」の測定値は粒子状フッ素及び気体状のフッ素の合計

2 東通原子力発電所

(1) 空間放射線

調査対象	調査対象	調査地点		単位	測定値	
空間放射線 線量率	空間放射線 線量率	モニタリングステーション	測定地点	小 田 野 沢 局 他 計 3 局	nGy/h	14~55
		モニタリングポスト	測定地点	砂 子 又 局 他 計 8 局		12~81
		モニタリングカー定点測定	測定地点	白 糠 他 計 9 地 点		11~19
		モニタリングカー走行測定	測定地点	東 通 原 子 力 発 電 所 周 辺 計 4 ル ー ト		10~22
積算線量	積算線量	測 定 地 点		大 平 滝 浄 水 場 他 計 18 地 点	$\mu\text{Gy}/91\text{日}$	86~110
		比 較 対 照 地 点		む つ 市 川 内 町 1 地 点		100~104

(2) 環境試料中の放射能

ア 大気浮遊じん中の全ベータ放射能

調査地点	単位	測定値
モニタリングステーション 小田野沢局他計3局	Bq/m^3	0.031~9.2

イ 大気中のヨウ素-131

調査地点	単位	測定値
モニタリングステーション 小田野沢局他計3局	mBq/m^3	ND

(注) ND : 定量下限値未満

ウ 核種分析

調査対象	単位	セシウム-137		ヨウ素-131		トリチウム		ストロンチウム-90		プルトニウム			
		検体数	測定値	検体数	測定値	検体数	測定値	検体数	測定値	検体数	Pu-238	Pu-239+240	
											測定値	測定値	
陸上試験料	大気浮遊じん	mBq/m ³	36	ND	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	降下物	Bq/m ²	12	ND	—	—	—	—	1	0.10	1	ND	ND
	河川水	mBq/l (トリチウムはBq/l)	2	ND	—	—	2	ND	—	—	—	—	—
	水道水		16	ND	—	—	16	ND	—	—	—	—	—
	井戸水		4	ND	—	—	4	ND	—	—	—	—	—
	表土	Bq/kg乾	2	ND, 4	—	—	—	—	—	—	2	ND	ND, 0.09
	精米		2	ND	—	—	—	—	2	ND	—	—	—
	パレイシヨ	Bq/kg生	1	ND	—	—	—	—	1	ND	—	—	—
	ダイコン		2	ND	—	—	—	—	2	ND, 0.11	—	—	—
	ハクサイ		1	ND	1	ND	—	—	1	0.09	—	—	—
	アブラナ		1	ND	1	ND	—	—	1	0.12	—	—	—
	牛乳(原乳)	Bq/l	8	ND	8	ND	—	—	8	ND	—	—	—
	牛肉	Bq/kg生	1	ND	—	—	—	—	1	ND	—	—	—
牧草	2		ND, 0.7	1	ND	—	—	—	—	—	—	—	
指標生物 松葉	2		ND	—	—	—	—	2	ND	—	—	—	
海洋試験料	海水	mBq/l (トリチウムはBq/l)	6	ND	—	—	6	ND	—	—	—	—	—
	海底土	Bq/kg乾	3	ND	—	—	—	—	—	—	3	ND	0.35~0.60
	ヒラメ	Bq/kg生	1	ND	—	—	—	—	1	ND	—	—	—
	カレイ		1	ND	—	—	—	—	1	ND	—	—	—
	ウスメバル		1	ND	—	—	—	—	1	ND	—	—	—
	コウナゴ		1	ND	—	—	—	—	1	ND	—	—	—
	アワビ		1	ND	—	—	—	—	1	ND	1	ND	0.015
	ホタテ		1	ND	—	—	—	—	1	ND	1	ND	ND
	コンブ		2	ND	2	ND	—	—	2	ND	2	ND	0.003
	タコ		1	ND	—	—	—	—	1	ND	—	—	—
指標生物 ムラサキガイ	2	ND	—	—	—	—	2	ND	2	ND	ND		
(むつ市川内町)比較対照	表土	Bq/kg乾	1	8	—	—	—	—	—	1	ND	0.13	
	指標生物 松葉	Bq/kg生	2	ND	—	—	—	—	2	0.83, 1.0	—	—	—
計	—	115	—	13	—	28	—	32	—	13	—	—	

(注) ND: 定量下限値未滿

3 リサイクル燃料備蓄センター

(1) 空間放射線

調査対象	調査地点			単位	測定値
空間放射線量率	モニタリングポスト	測定地点	関根局	nGy/h	18~53
積算線量	測定地点		水川目ほか計4地点	μGy/91日	91~99
	比較対照地点		むつ市川内町中道1地点		100~104

(2) 環境試料中の放射能

ア 核種分析

調査対象	単位	セシウム-137		
		検体数	測定値	
陸上試料	表土	Bq/kg乾	3	6~9
	松葉	Bq/kg生	2	ND
比較対照 (むつ市川内町)	表土	Bq/kg乾	1	8
	松葉	Bq/kg生	2	ND
計	—	—	8	—

(注) ND: 定量下限値未滿

表87 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センター
に係る放射線監視結果(令和元年度)

調査対象	調査地点	単位	測定値	
空間放射線 積算線量 (RPLD)	浜関根他 計4地点	$\mu\text{Gy}/91\text{日}$	91~99	
放出水	放出口	mBq/ℓ	^{60}Co	—
			^{137}Cs	—
	取水口		^{60}Co	—
			^{137}Cs	—

(注) — : 放出実績なし

表88 環境放射能水準調査結果

(1) 空間放射線量率測定結果

調査地点		測定値(nGy/h)
モニタリングポスト	青森市ほか計9地点	17~101

(2) 環境試料中の放射能測定結果

ア ゲルマニウム半導体検出器による核種分析

調査対象	単位	検体数	測定値					
			セシウム-134	セシウム-137	ヨウ素-131	カリウム-40	ベリリウム-7	
降下物	MBq/km ²	12	*	*~0.067	*	*~3.4	38~600	
大気浮遊じん	mBq/m ³	4	*	*	*	—	1.9~4.4	
陸水	上水(蛇口水)	m Bq/ℓ	1	*	*	*	32	—
土壌	0-5cm	Bq/kg乾土	2	*	1.6, 3.6	—	240, 390	—
		MBq/km ²		*	77, 110	—	7000, 18000	—
	5-20cm	Bq/kg乾土	2	*	0.89, 2.8	—	260, 470	—
		MBq/km ²		*	130, 340	—	39000, 58000	—
精米	Bq/kg生	1	*	*	*	20	—	
野菜	キヤベツ		1	*	*	—	52	—
	ジャガイモ		1	*	*	—	140	—
牛	乳	Bq/ℓ	1	*	*	*	45	—
海	水	mBq/ℓ	2	*	*	*	10000, 11000	—
海	底土	Bq/kg乾土	2	*	*, 3.6	—	360, 620	—
海産生物	藻類(ワカメ)	Bq/kg生	2	*	*	—	180, 200	—
	魚類(カレイ)		1	*	0.068	—	120	—
	貝類(ムラサキイガイ)		1	*	*	—	36	—
	貝類(ホタテ)		1	*	*	—	86	—

(注) * : 検出限界以下

イ 定時降水中の全ベータ放射能測定結果

測定数	測定値(Bq/ℓ)	降水ごとの降下量 (MBq/km ²)
118	*~5.8	*~53

(注) * : 検出限界以下

※表88は、原子力規制庁からの委託事業として県が実施した平成30年度「環境放射能水準調査」の成果である。

13 廃棄物

表 89 空き缶等散乱防止重点地区

指定・施行期日	重点地区	関係市町村
平成10年7月15日指定 平成10年10月1日施行 (7地区5市町村)	十和田湖畔地区 奥入瀬溪流・青山地区 白神山地赤石地区 白神山地天狗岳登山道地区 白神山地白神岳登山道地区 白神山地暗門の滝地区 三内丸山遺跡地区	十和田市 十和田市 鱒ヶ沢町 鱒ヶ沢町・深浦町 深浦町 西目屋村 青森市
平成10年8月31日指定 平成10年12月1日施行 (9地区5市町村)	恐山・釜臥山地区 川内ダム地区 湯野川地区 薬研温泉・溪流地区 大間崎地区 尻屋崎地区 下風呂地区 仏ヶ浦地区 脇野沢海岸地区	むつ市 むつ市 むつ市 むつ市 大間町 東通村 風間浦村 佐井村 むつ市
平成11年9月20日指定 平成11年12月1日施行 (8地区8市町)	官庁街通り地区 高野崎地区 竜飛崎地区 ベンセ湿原地区 十二湖公園・青池日暮線地区 岩木山桜林公園・並木のみち地区 十三湖中島地区 権現崎地区	十和田市 今別町 外ヶ浜町 つがる市 深浦町 弘前市 五所川原市 中泊町
平成23年8月1日指定 平成23年10月1日施行 (5地区4市町)	芦野公園地区 斜陽館通り・荒馬通り・メロス坂通り地区 夏泊半島地区 大沢内ため池地区 三戸城山公園地区	五所川原市 五所川原市 平内町 中泊町 三戸町

資料：県環境政策課

14 環境教育・学習

表90 環境教育・学習関連の取組一覧

(令和元年度)

名 称	概 要	担当課等
環 境 出 前 講 座 実 施 事 業	地域の環境NPOとの連携により、地域の人財する（環境教育専門員）による小学校を対象とした環境出前講座を実施した。	環境政策課
環 境 活 動 推 進 事 業	地域や学校において環境学習や環境保全活動を行うこどもエコクラブの実態調査を行った。 また、メールマガジン「エコの環メール通信」の会員に月1回メールマガジンを配信した。	環境政策課
北 東 北 三 県 環 境 ワ ー ク ブ ッ ク	北東北三県環境ワークブック（バインダー式教材及びリーフレット）を青森県・秋田県・岩手県で作成し、三県の全小学校に配付した。	環境政策課
ごみ探偵団が行く！	小学生向けのごみの処理について解説した冊子を作成・配布した。	環境政策課
全 国 水 生 生 物 調 査	小学生等による身近な川での水生生物の調査を行った。	環境保全課
今日からはじめよう、 生活排水対策！	生活排水対策の啓発リーフレットを配布した。	環境保全課
生活排水対策講習会	地域住民を対象に家庭でできる生活排水対策の講習会を3回開催した。	環境保全課
青森県の希少な野生 生物－青森県レッドデ ー タ ブ ッ ク	県内に生育・生息する野生生物について、絶滅のおそれのある種についてとりまとめHPで公開した。	自然保護課
利 用 指 導 事 業	県民の森をフィールドとした自然体験活動等を実施（毎月開催）した。	自然ふれあいセンター
自 然 体 験 事 業	白神山地の自然観察・野外活動等による自然体験活動（年11回開催）を実施した。	白神山地ビジターセンター
文 化 継 承 事 業	白神山地の自然との共生から生まれた文化を、ネイチャースクール、ネイチャークラフト作成等を通して学ぶ機会を提供（年6回開催）した。	白神山地ビジターセンター
森 林 環 境 教 育 指 導 者 デ ー タ ベ ー ス	森林環境教育の指導者情報を県ホームページ等で公開し、指導者間の情報共有や森林教室等の実施に活用した。	林政課
農 業 水 利 施 設 見 学 会	地域の小学生を対象に、取水施設や用排水路、ポンプ場などの農業水利施設の役割やしきみなどを紹介した。	農村整備課
環 境 公 共 推 進 プ ロ ジ ェ ク ト	環境公共の取り組みが本県の豊かでおいしい農林水産物の生産を支えていることをPRするため、全6県民局で「食」や「農」などに関する体験学習を開催した。	農村整備課
水 産 教 室	小・中学生を対象に、漁業体験や学習を通じて水産業や漁場環境への関心を喚起した。	水産振興課
愛 魚 週 間	稚魚放流、講演会、河川清掃等による愛魚意識の普及啓発を行った。	水産振興課
あおもり環境人財育成 促 進 事 業	大学による環境教育モデル形成促進事業として、青森大学、弘前大学及び八戸工業大学において、大学と学生が主体となって企画運営する体験型環境教育事業を実施した。 また、地域における環境活動ネットワーク形成促進事業として、シンポジウムを開催した。	環境政策課

資料：県環境政策課

15 環境行政のあゆみ

年 月	県 内	全 国
平成31. 4	○もったいない・あおもり県民運動平成30年度推進 会議・行政部会合同会議（青森市、COOL CHOICE あおもり宣言共同採択）	
令和元. 5	○第1回第6次青森県環境計画策定検討有識者会議	
6		○「気候変動適応法」の公布 ○「美しく豊かな自然を保護するための海岸における良好な景 観及び環境の保全に係る海岸漂着物等の処理等の推進に関す る法律の一部を改正する法律」の公布 ○「第四次循環型社会形成推進基本計画」閣議決定
7	○平成30年度青森県地球温暖化対策推進協議会 ○あおもり低炭素社会づくり庁内推進本部幹事会 ○青森県循環型社会形成推進委員会 （青森市） ○小川原湖生活排水対策推進アドバイザー講習会 （十和田市）	
8	○森の番人養成スクールの開講 （8月～令和2年2月）	
9	○あおもりスマートムーブキャンペーン （9月～10月） ○第2回第6次青森県環境計画策定検討有識者会議	
10	○スマートムーブ通勤月間 ○青森県海岸漂着物対策推進協議会（青森市） ○生活排水対策講習会（田舎館村）	
11	○第11回北海道・北東北地球温暖化対策推進本部幹 事会（秋田県） ○第3回第6次青森県環境計画策定検討有識者会議 ○生活排水対策講習会（三沢市、野辺地町）	○「気候変動適応計画」閣議決定
12	○狩猟体験ツアー（東北町） ○狩猟フォーラム（西目屋村） ○白神山地世界自然遺産登録25周年記念フォーラム （西目屋村） ○「きれいな水を守る子どもサミット」 の開催 ○第33回青森県環境審議会（青森市）	○「気候変動適応法」の施行 ○「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則及びポリ塩化 ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法施 行規則の一部を改正する省令」の公布・施行 ○「ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理基本計画」の変更
2. 1	○令和元年度もったいない・あおもり県民運動推進 大会（青森市） ○あおもり低炭素社会づくり庁内推進本部幹事会	
2	○第34回青森県環境審議会（青森市）	
3	○第6次青森県環境計画策定	